

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

新たな「まちづくり会社」による地域商社機能の強化と中心市街地の活性化を促す総合支援体制の構築事業

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

網走市

## 3 地域再生計画の区域

網走市の全域

## 4 地域再生計画の目標

### 4 - 1 地方創生の実現における構造的な課題

網走市の商業地域は、市内中心部を流れる網走川を中心に発展してきた。

その中心市街地に位置する網走中央商店街は、物販、サービスを中心とした業種で構成される地域型商店街として、古くから地域住民の生活に密着している商店街であるが、近年の人口減少や郊外への大型店舗の出店等により、空き店舗の増加や人の通行量の減少に歯止めがかからない状況である。

また、網走中央商店街の周辺には官公庁・病院・金融機関があり、網走市の中核的機能として市民の日常生活に大きく寄与してきたが、経済の低迷に加え近隣大型複合店舗の開業、さらには核商業大型店舗であったラルズプラザ網走店が平成 21 年（2009）に閉店などにより、商店街を取り巻く環境は一段と厳しさを増している。



平成 27 年（2015）には、空きビルとなっていた旧ラルズプラザ網走店の建物は、老朽化などにより外壁の剥離による落下等の危険性が高まったことなどから解体され空き地となっており、各種団体が構成される「網走市まちづくり会社設立協議会」でも継続的に活用方法を検討している。

さらに、網走中央商店街には、総合的に生鮮食料品などを扱う店舗が 1 軒しかなく、地域住民からは気軽に立ち寄り、情報交換ができる場所であった旧ラルズプラザに変わる場所やスーパー等生鮮食料品や日常生活用品の買い物ができる店舗を望む声が多い。

今後、「まちなか再生」を牽引する「網走まちづくり会社」の設立やタウンマネジャー的な人材配置が課題となっている。

## 4-2 地方創生として目指す将来像

本計画の目指す将来像は、総合戦略に基づいた施策として、中心市街地に新たな人の流れやにぎわいを創出させる事業に取り組み中心市街地の「まちなか再生」の牽引役となる「網走まちづくり会社」を設立し、地域商社機能となる特産品の販売促進及び首都圏商店街との連携した商品の販路拡大、情報発信事業、不動産事業、観光客の商店街への誘客事業、各種にぎわいを創出するイベント事業などへの支援を行うとともに官民一体となってまちなか再生に取り組みにぎわい、魅力ある中心市街地を構築する。

### 【数値目標】

目標年度 K P I	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 (増加分) (1 年目)	平成 30 年度 (増加分) (2 年目)	平成 31 年度 (増加分) (3 年目)	KPI 増加分の 累計
中心市街地通行 者数 (平日)	7,000 人	500 人	500 人	1,000 人	2,000 人
中心市街地通行 者数 (休日)	4,500 人	500 人	500 人	1,000 人	2,000 人
まちづくり会社 の従業員数	0 人	1 人	1 人	1 人	3 人
新規開店の店舗 数	0 店	0 店	1 店	2 店	3 店

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

地域商社機能を有する「網走まちづくり会社」により、中心市街地のにぎわいを創出するとともに新しい人の流れを創出し活性化を図る。

「まちなか再生」の牽引役となる「網走まちづくり会社」を設立し、中心市街地の旧ラルズプラザ網走店跡地＝らるあーと（通称）における再開発事業の事業主体となることを検討するほか、ソフト、ハード事業などを通じて中心市街地の活性化させる事業を構築する。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金【A3007】

#### ① 事業主体

網走市

#### ② 事業の名称

新たな「まちづくり会社」による地域商社機能の強化と中心市街地の活性化を促す総合支援体制の構築事業

### ③ 事業の内容

「まちなか再生」への課題解決のため、牽引役となるまちづくり会社を設立し、特産品の販売促進及び首都圏商店街と連携した商品の販路拡大、情報発信事業、不動産事業、観光客の商店街への誘客事業、各種にぎわいを創出するイベント事業などへの支援を行うとともに官民一体となってまちなか再生に取り組む。まちづくり会社設立後、「網走市まちづくり会社設立協議会」を「網走市まちづくり会社推進協議会（仮称）」に改名し「網走まちづくり会社」を支援していく。

### ④ 事業が先導的であると認められる理由

#### 【自立性】

網走まちづくり会社を設立し、3年後には、不動産事業（空き店舗のリノベーションなど）、特産品販売事業などにより、自立した経営を行い本交付金に頼らない経営を目指す。

#### 【官民協働】

「中心市街地のにぎわい・新たな人の流れを作る」目標を掲げ、網走中央商店街振興組合や市を始め、関係機関と連携し、中心市街地の活性化に取り組む体制づくりを構築する。

#### 【政策間連携】

商工政策の地場産品を活用した販売体制と観光政策の中心市街地への観光客誘客により、新たな人の流れやまちづくりに取り組む。

#### 【地域間連携】

該当なし

#### 【その他の先導性】

該当なし

### ⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

目標年度 K P I	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 (増加分) (1 年目)	平成 30 年度 (増加分) (2 年目)	平成 31 年度 (増加分) (3 年目)	KPI 増加分の 累計
中心市街地通行 者数 (平日)	7,000 人	500 人	500 人	1,000 人	2,000 人
中心市街地通行 者数 (休日)	4,500 人	500 人	500 人	1,000 人	2,000 人
まちづくり会社 の従業員数	0 人	1 人	1 人	1 人	3 人

新規開店の店舗数	0店	0店	1店	2店	3店
----------	----	----	----	----	----

## ⑥ 評価の方法、時期及び体制

### 【検証方法】

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、6月に開催する「網走市選択する未来会議」において、結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けた必要な計画の見直しや変更を行う。

### 【外部組織の参画者】

オホーツク網走農業協同組合、網走漁業協同組合、西網走漁業協同組合、網走商工会議所、網走市観光協会、網走市医師会、網走市社会福祉協議会、東京農業大学オホーツクキャンパス、日本体育大学附属高等支援学校設立準備室、網走信用金庫、網走地区連合会女性委員会、網走市青年団体連合会、東京農業大学農友会、網走市女性団体協議会、FOREVER 網走、NPO法人創成塾、網走市町内会連合会、日本政策金融公庫、北海道銀行、北洋銀行、網走南ヶ丘高等学校（生徒）

### 【検証結果の公表の方法】

毎年度、網走市が網走市選択する未来会議及び網走市議会地方創生総合戦略検討特別委員会により目標の達成状況等に係る検証を行い、その結果について市のホームページ等により公表する。

## ⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 6,700 千円

## ⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日まで（3カ年度）

## ⑨ その他必要な事項

特になし

### 5—3 その他の事業

#### 5—3—1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

#### 5—3—2 支援措置によらない独自の取組

##### （1）空き店舗・空き地活用事業補助

事業概要：中心市街地の空き店舗を活用し商店街に不足している業種や話題性、集客性のある業種等を開設するものに対し、店舗改修費及び店舗借上家賃の

一部を助成する。

実施主体：網走市

事業期間：平成 29 年度～平成 31 年度

## (2) まちなか情報発信事業補助

事業概要：中心市街地にまつわる魅力ある情報を市民に対して情報発信を行う。

実施主体：網走市

事業期間：平成 29 年度～平成 31 年度

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から平成 32 年 3 月 31 日まで

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

#### 【検証方法】

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、6月に開催する「網走市選択する未来会議」において、結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けた必要な計画の見直しや変更を行う。

#### 【外部組織の参画者】

オホーツク網走農業協同組合、網走漁業協同組合、西網走漁業協同組合、網走商工会議所、網走市観光協会、網走市医師会、網走市社会福祉協議会、東京農業大学オホーツクキャンパス、日本体育大学附属高等支援学校設立準備室、網走信用金庫、網走地区連合会女性委員会、網走市青年団体連合会、東京農業大学農友会、網走市女性団体協議会、FOREVER 網走、NPO法人創成塾、網走市町内会連合会、日本政策金融公庫、北海道銀行、北洋銀行、網走南ヶ丘高等学校（生徒）

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

目標年度 K P I	事業開始前 (現時点)	平成 29 年度 (増加分) (1 年目)	平成 30 年度 (増加分) (2 年目)	平成 31 年度 (増加分) (3 年目)	KPI 増加分の 累計
中心市街地通行 者数 (平日)	7,000 人	500 人	500 人	1,000 人	2,000 人
中心市街地通行 者数 (休日)	4,500 人	500 人	500 人	1,000 人	2,000 人
まちづくり会社 の従業員数	0 人	1 人	1 人	1 人	3 人
新規開店の店舗 数	0 店	0 店	1 店	2 店	3 店

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、網走市が網走市選択する未来会議及び網走市議会地方創生総合戦略検討特別委員会により目標の達成状況等に係る検証を行い、その結果について市のホームページ等により公表する。